



自らの思いを「活動」で表現
【朝のさわやかタイム】
(学級ごとの活動)



材との出会いを大切に【総合的な学習の時間】



新鮮なワークショップ形式の【授業研究会風景】

城北中学校

城北中学校は、上越市の中心的な中学校として市内の先駆的な教育活動を実践されている学校です。「ともに育つ ともに生きる 地域の学校」を掲げ、キャリア教育や人権学習、地域を学んだり、地域の方と学んだりする活動等、生徒にとってわくわくする活動が展開されていることが、自ら考え、自ら動きだし、納得するまでやり抜く姿につながっているのだと思いました。

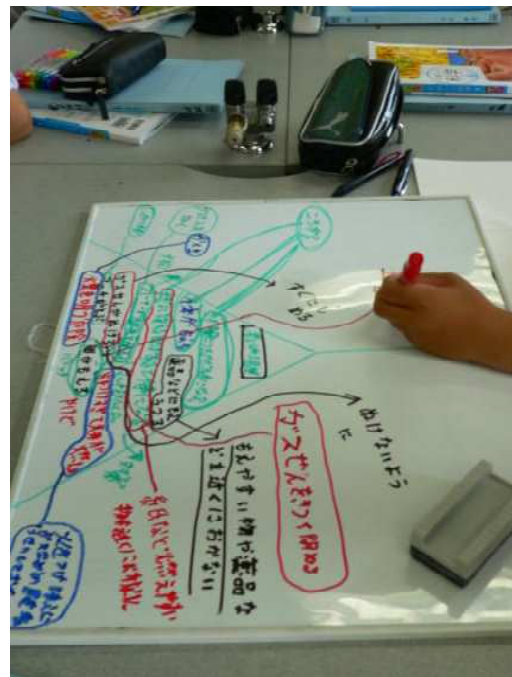
特にコミュニティスクールとして地域に積極的に働きかけ、地域の方々とはつながり合う活動を大事にし、地域社会と学校との融合を図り、キャリア教育の充実に向けてその可能性を探りながら取り組んでおられることがすばらしいと感じました。

また、授業を参観しながら、先生方の肩に力の入らない、自然体で生徒に接する姿が、心地よく、それが生徒の自然体を生み出し、生徒のつぶやきを生み、対話的な授業を創り出しているのだと思いました。

校舎内の絵、スタンドグラス、回り階段等の充実した校舎内環境や何より生徒の生活感のある掲示がとても素敵に掲示されており、とても明るい感じの学校であるなあと感じました。自らチャレンジし、友と協働しながら自らの可能性を伸ばしていく生徒の充実した活動の一端はこんな学校環境から生み出されるものなのだと感じる事ができました。



様々なシンキングツールを使った 【対話的な授業の実践】



自らの実践と絡めながら 【互いに考え合った懇談会】





生活感のある素敵な【教育環境】

今回の研修の参加者全員、二つの学校を参観し、多くのことを学ぶことができました。また、20名の先生方の積極的に質問し、自ら学ぼうとする姿勢に、素晴らしい研修の機会であったと感じることができました。

今回の研修は、若い先生方や女性の先生方の参加が多く、少しずつ同じ学校の職員同士のように親しくなり、実践を語り、思いを語り合う姿に、上伊那の先生方が「つながり合う」という意味で貴重な研修の機会であることを実感することができました。

こうしたつながりがこれからの上伊那の教育を支えていくための力となっていくように感じられました。



なお、「県外教育関係機関研修 in 上越」については10月31日に予定している報告座談会で詳しく報告する予定です。多くの会員の皆さんにご参加いただき、いっしょに学び合いたいと思っています。

また、研修報告は、雑誌「上伊那教育」135号に、座談会の様子については、136号に掲載予定です。

乞う ご期待。